

# 『キャリアに関する校内研修』（多摩桜の丘学園版）実施報告（概要）

令和5年度 多摩桜の丘学園校長&課長コラボ企画研修（校長人材育成研修）

- 1 実施日時 令和5年7月24日(月) 午前9時～12時15分
- 2 会場 本校(使用教室 7部屋)
- 3 研修目的 キャリア教育とキャリア形成への理解を促し、内省の重要性に気付く
- 4 受講者 初任教員、受講を希望する教員 25名
- 5 研修講師 国家資格キャリアコンサルタント有資格者 10名
- 6 研修内容
  - ・オリエンテーション
  - ・No.1 ①キャリア教育とキャリア形成 ②心のバイアス ③非言語の理解
  - ・No.2 ①キャリアの振り返り(アサーションの理解) ②キャリア形成(グループワーク)
  - ・No.3 児童・生徒のキャリア教育(グループワーク)
  - ・No.4 キャリアカウンセリング体験
  - ・まとめ



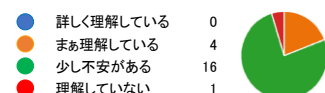
受講者アンケート結果から「キャリア」に関する理解について、研修受講前のアンケートでは、受講者の半数以上が、「少し不安がある」と回答していた。しかし、研修終了後のアンケートでは、「キャリア」に関する理解が高くなり、「少し不安がある」と回答した受講者数は激減した。また、「児童・生徒のキャリア」や「自分のキャリア」への関心も、研修受講により顕著に高くなった。



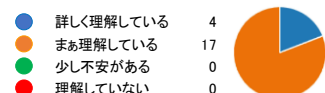
## 受講者アンケート結果(初任教員のみ)

### 【受講前】

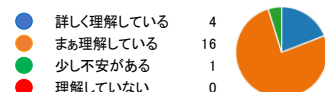
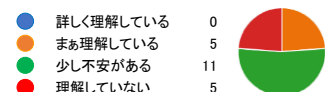
#### キャリアについての理解度



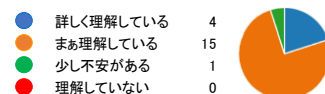
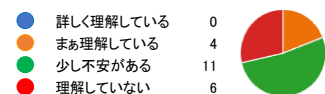
### 【研修終了後】



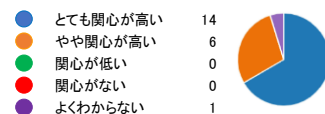
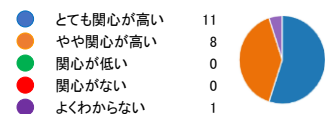
#### キャリア教育についての理解度



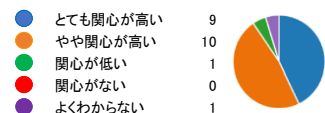
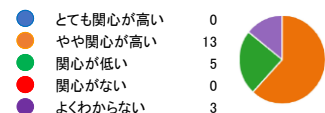
#### キャリア形成についての理解度



#### 目の前の児童・生徒のキャリアについての関心

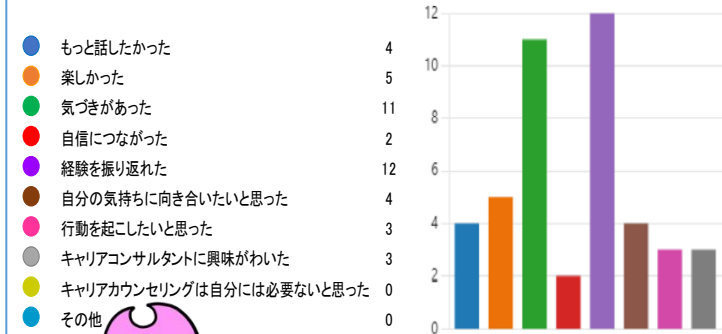


#### 自分のキャリアについての関心



受講者アンケート結果から キャリアカウンセリング体験では、「経験を振り返れた」、「気づきがあった」と回答(複数回答可)した受講者が突出して多く、キャリアコンサルタントの支援による効果が出ていると考えられる。また、「キャリアカウンセリングは自分には必要ないと思った」と回答した受講者はいなかったことから、キャリアカウンセリングの必要性を感じている受講者が多いことがアンケート結果から読み取れる。

### 今回の研修で体験したキャリアカウンセリングは、いかがでしたか(複数回答可)



主幹教諭(受講)からの意見 相談窓口が新たに1つ増えるのはよかった。グループに主幹教諭等が入ることで、初任の先生方を育てていく上で必要な力は何か、困っていることは何かを考えながらグループワークができるので、どちらにもメリットがあったと感じた。

主幹教諭(受講)からの意見 人生の節目においてキャリアコンサルティング(今回の研修ではキャリアカウンセリング)を受けることで、羅針盤の針の向きに気づくことができます。「何となく」を行動化へ導く触媒の役割もあると思いました。無意識を意識化するプロの技は、さすが！と感じ入りました。

### 校長考察

今回は、初任の教員を対象として、教員自身のキャリア形成に資すること、及び教員自身がカウンセリング体験をとおして、「キャリア」の本質的な意義に気付き、児童・生徒へのキャリア教育の充実を図ることをねらいとした。研修前後のアンケートの結果から、「キャリア」についての理解度、関心など全ての質問項目において、より理解が深まった。今後、単発的な研修ではなく、継続した取組によるフォローアップを大切にしたい。